OUKA
The University of Osaka
Institutional Knowledge Archive

Title	Gallia40号 目次
Author(s)	
Citation	Gallia. 2001, 40
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/21262
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

The University of Osaka

目　　次

大阪大学仏文学研究室創立50周年
『ガリア』40号記念号刊行にあたって　柏木　隆雄……　1

ARTICLES

未来形はテンスなのか　井元　秀剛……　3

テキスト構成とテンス・アスペクト　春木　仁孝……　11

アリオストの『オルランド・フュリオーソ』における歴史的事件への暗示
高岡　幸一……　19

ロンサールと『戯歌集』　―その匿名の問題について―
岩根　久……　27

モリエール喜劇の傍白　末次　義……　35

モリエール『気でやむ男』の「小さな即興オペラ」における王の不在
武田　裕紀……　43

パスカルの計算機　―年代決定に関する若干の考察　永瀬　春男……　51

ディドロ『修道女』における見かけと真実　中尾　雪絵……　59

スタンダール『恋愛論』と日本　粕谷　祐己……　67

バルザックの『老嬢』における母性とエロティシズム　中村　加津……　75

アモル神話と『ボヴァリー夫人』　金崎　春幸……　83

クローデルにおける批評と創造の接点　―会話体のエッセーを手掛かりに―
内藤　高……　91

クローデルの『オランダ絵画序説』考　永瀬　純子……　99

アンドレ・ジッドとポール・ヴァレリーの「古典的なるもの」について
立川　信子……　107

『失われた時を求めて』に見るフォーブール・サン＝ジェルマン
　―ゲルマント公爵夫人のモードを通して―　長谷川　富子 …… 115

バルト/ボードレール　―バルトによるボードレールの引用をめぐって―
北 村　卓 …… 123

アンリ＝フレデリック・ブラン論　―現実という虚構、非現実という虚構―
石 井　啓 子 …… 131

Comment unir grammaire et prosodie dans l'enseignement du français
pour les débutants? Keisuke NAKAMURA …… 139

Cent ans d'études balzaciennes au Japon Takao KASHIWAGI …… 147

La fonction de la vue dans les *Conferences de Toulouse* Junko OKADA …… 155

Naissance et disparition dans *Jacques* de George Sand Naoko TAKAOKA …… 163

Un des témoignages de Champfleury sur Nerval Nobuyuki KOBAYASHI …… 171

À propos des citations de Balzac par Baudelaire Nobuko MIYAKE …… 179

La Tentation de Flaubert pour le Théâtre Kayoko KASHIWAGI …… 187

Lautréamont et paralittérature — la mise en œuvre du système répétitif
du roman-feuilleton — Naruhiko TERAMOTO …… 195

Les deux peintres dans les brouillons « Combray » de 1909 — Elstir et Monet
Yasue KATO …… 203

Les yeux mauves de Mme de Guermantes Keeko SAKAMURA …… 211

La Mort sous la forme d'une jeune femme chez Cocteau — sur la genèse du personnage
de la Princesse du film *Orphée* — Kazuyuki MATSUDA …… 219

Le théâtre *pur* chez Antonin Artaud — à travers *Le Théâtre et son Double* —
Naoko INOUE …… 227

Le chronotope du *Royaume-Farfelu* d'André Malraux Ritsuko UEZU …… 235

La lutte contre l'abstraction — la signification de l'acte de voir
dans *La Peste* d'Albert Camus — Maki ANDO …… 243

Poésie années 90 : Pierre Alferi, *Kub Or* Agnès DISSON …… 251

＊　　＊　　＊

A LA DECOUVERTE D'UN ECRIVAIN JAPONAIS DE GENIE
DEUX RECITS DE KAJII MOTOJIRO (1901-1932)
traduits par HARA KOKITI et JAMET OLIVIER …… 257

ESSAIS

私の文学修業　泉　敏夫 …… 265
思い出すことども　石澤　小枝子 …… 267
ある先輩のこと　中村　加津 …… 268
パスカル研究の伝統　森川　甫 …… 269
不真面目な学生　豊高　明枝 …… 271
研究室の海　小坂　美樹 …… 272

歴代助手による研究室の思い出

のほほん助手のころ　持田　坦 …… 274
個人的な思い出　赤木　昭三 …… 276
助手会結成の頃　伊地智　均 …… 278
忘れ得ぬこと　草壁　八郎 …… 279
仏文助手中ナンバーワン？　中村　啓佑 …… 280
楽しかった助手生活　高岡　厚子 …… 281
思い出の記　金崎　春幸 …… 283
凝縮された三年間　北村　卓 …… 284
わずか一年の助手時代　和田　章男 …… 285
阪大助手時代　粕谷　祐己 …… 286
あの頃の思い出　松田　和之 …… 287
洪水と地震の後に・・・　寺本　成彦 …… 288
学生諸君の協力のもと・・・　黒岡　浩一 …… 289

＊　　＊　　＊

大阪大学におけるフランス文学研究の傾向　和田　章男 …… 291
仏文学研究室年表 …… 297

＊　　＊　　＊

卒業論文要旨 …… 298
報告 …… 303
会員研究活動報告 …… 305
大阪大学フランス語フランス文学会会員名簿 …… 309
大阪大学仏文学専攻卒業生・修了生名簿 …… 317
掲載論文要旨 …… 320
大阪大学フランス語フランス文学会会則 …… 336
あとがき …… 337

本号は以下の皆様のご協力を得て刊行いたしました。ここにご芳名を記して厚く感謝いたします。

青木聡子	太田美代子	佐藤久仁子	寺本成彦	平田靖
阿南婦美代	鍛冶義弘	佐藤睦子	豊高明枝	福田公子
安藤麻貴	柏木加代子	末次義	内藤高	藤江春夫
池田尚之	柏木隆雄	菅瀬富子	中井智子	藤田義孝
石澤小枝子	柏原紀久子	杉順子	中尾雪絵	藤本武司
石井啓子	粕谷祐巳	隅弥寿子	中村加津	松田和之
泉敏夫	金崎春幸	城みすず	中村啓佑	松本俊史
磯橋一恵	加藤靖恵	高岡厚子	中村順子	美紀嵩子
伊地智均	北村卓	高岡幸一	永瀬順子	三藤博
伊藤佐紀	木内良行	高岡尚子	永瀬春男	三宅宣子
井上直子	木村敦子	高瀬英彦	永野仁	向井邦夫
井元秀剛	黒岡浩一	竹越理与子	**楯**原恭三	森川甫
岩根久	黒瀬貴将	竹田英尚	七尾誠	森本康子
上江洲律子	小坂美樹	竹田順子	西川和泉	門田江里
上羽明子	小谷典子	武田裕紀	長谷川富子	柳沢浩之
内田能嗣	小谷征生	立花規矩子	服部千佳子	山崎恭宏
打田素之	小林貴文	立川信子	濱田明	山根紀子
打田治枝	小林宣之	田辺明雄	林千宏	山本洋子
小川美登里	小山美沙子	田辺知子	春木仁孝	吉田富子
岡田純子	阪村圭英子	Disson, Agnès	原亨吉	和田章男

（五十音順、敬称略。平成13年1月31日到着分まで。）